

地域おこしの夢やアイデアを出し合う

阿蘇の地域づくり団体交流会



「[わが]で熱血主張したなべづる大学の様子。

火の国未来づくりネットワーク阿蘇地域ブロック主催の交流会が1月25、26日、阿蘇青少年交流の家で開かれました。

阿蘇の復興再生に向け連携を図ることを目的に行われ、オーナーシェフ宮本健真さんによる「阿蘇を世界農業遺産に。～地域をつなぐ一皿～」と題した基調講演のほか、九州バイオマスフォーラムの天津愛梨さんによる「農家がつくる風景とエネルギー」と題した事例発表、翌26日には夢やアイデアを10分間で競い合う熱血主張バトルが行われ、第2位には本市で地域おこしに取り組む「なべづる大学」(今村隆孝代表)が選ばれました。

子どもの成長を地域で見守る

第7回阿蘇市青少年健全育成推進会議



講演や学習を通して、子どもや若者たちのよりよい成長を考えようと2月17日、阿蘇市青少年健全育成推進大会が就業改善センターで行われました。

阿蘇市青少年健全育成市民会議(安部武夫会長)が主催する本大会は第7回を迎え、今回は阿蘇市在住のイラストレーター、あべまりあ氏の講演のほか乳幼児期における家庭教育のあり方についてワークショップが行われました。

あべまりあ氏の講演では、自身の体験談に触れ母や子どもへの思いを語り「大人が変われば子どもも変わる。意識を変えることが大事」などと参加者に訴えました。

内牧御茶屋で殿様に献上されていた料理を復元

参勤交代時代の「食」をまちの目玉に



阿蘇市内の豊後街道復元に取り組む阿蘇北外輪山トレッキング協会(阿南善範会長)と内牧新町活性化福の会(湯浅陸雄会長)はASO 田園空間博物館の協賛で、江戸時代の参勤交代の際、内牧御茶屋で殿様に献上された料理を再現し、今後のまちおこしについて意見交換する試食会を2月17日に実施しました。

文献(史料阿蘇)に当時使った食材が記されており、調理方法はJA阿蘇町女性部加工班(永富美津子代表)が研究し担当。当時の食材は、小里深牧の小川のセリ、旧内牧城の古川の鯉、西湯浦松尾山の山芋、成川の姫水鶏、坂梨村のクワイなどであったということです。

認知症を正しく理解しましょう

「認知症サポーター養成講座」



認知症を正しく理解して、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちを目指そうと、市では「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

2月6日に一の宮保健センターで開催した同講座には、市職員など約60人が参加。講師に熊本県認知症介護指導者の前川春美氏を招き、認知症の基本的な知識や認知症の方との接し方などについて講義があり、参加者は真剣な面持ちで受講しました。

最近の調査では、85歳以上の3人に1人が認知症であるとの結果も出ており、市でも認知症の方を地域で支えるため、本講座を事業所や各団体などにも実施しています。開催をご希望の方は市地域包括支援センター(☎22-3145)までご連絡ください。

今月の Pick up!

～阿蘇の新たなお土産に～ 「阿蘇のお土産 お菓子コンテスト」



▼審査の様子。

昨年引き続き開催された「阿蘇のお土産お菓子コンテスト」。阿蘇市のホームページやチラシ等で広くアイデアを募集したところ、今年も県内外から多くの応募があり1月25日、阿蘇ホテルで審査がありました。



審査は、今、阿蘇市で好評開催中の「阿蘇 de スイーツめぐり」実行委員会の代表を務める田野雅文氏（阿蘇お菓子工房たのや社長）、阿蘇市地域振興マネージャー前田香保里氏をはじめ、6名により行われました。

厳正な審査の結果、グランプリには、益城町の古場有紀子さんの「米粉を使った米塚ワッフル」が選ばれました。古場さんの作品は、県産の米粉を使用し、ホワイトチョコとクリームチーズなどを混ぜ、阿蘇の米塚の形にしあげられた作品でした。また、準グランプリには、阿蘇市の坂梨千秋さんの「Asonowa」（アソノワ）が選ばれました。坂梨さんの作品は、阿蘇の五岳を模ったパズル風クッキーで、パッケージにも趣向が凝らされた作品でした。入賞作品については、専門家の意見を交えながら商品化に向けた開発を進めていく予定です。



(写真上) グランプリの「米粉を使った米塚ワッフル」。(写真下) 準グランプリの「Asonowa」。

●コンテスト結果

○グランプリ

「米粉を使った米塚ワッフル」（古場 有紀子）[益城町]

○準グランプリ

「Asonowa」（坂梨 千秋）[阿蘇市・内牧4区]

○奨励賞

「カボチャロール」（阿蘇中央高校 和田 史弥・水野 浩平）

「そば粉の阿蘇ボール・米塚そば粉シュフォン」

（堀川 加奈子）[氷川町]

「林檎のパウンドケーキ」（阿蘇中央高校 中島 千華・片山 由美香）

「苺マドレーヌ」（阿蘇中央高校 石本 友輝・恒松 孝彰）

○審査員特別賞

「月見そばの思い出」（山田 千代美）[合志市]

「火口パルフェ」（青木 淳子）[阿蘇市・内牧5区]

靴・バッグ のトラブル

あきらめないで！

修理・クリーニングしましょう



●部分カラ-リンク ●全体カラ-リンク ●クリ-ニング

※その他、各種修理も承ります。お気軽にお問い合わせください。

●受付窓口協力店
(有)クリーニングのレインボー
TEL: (西町) 0967-35-5600
(内牧) 0967-32-4110

【ミコト工房】
TEL: (光の森) 096-247-3553
阿蘇市内牧309-3

■ 受け付け窓口の『クリーニングのレインボー』さんへお持ちください。

広告



「かけはし」による録音作業の様子。

広報あそや議会だよりを 音声で聞きますか？

～録音テープの作成に努める
「音声訳ボランティア」の活動～

「割り振り」で自分が読むページが決まると、何度も読み返し、分かりやすいように説明を入れたり、間を工夫したりと原稿作りをしながら録音の日を待ちます。録音が終わると編集・ダビング作業を経て完成。早速、心待ちにしている利用者のもとへ届けられます。「市のできごとや大事なお知らせを知ることができ、いつも感謝しています」と利用者。利用者との月に一度の会話も大切なコミュニケーションです。



カナリアの会による割り振り作業の様子。

音声訳ボランティアとは、視覚障がいのある方などのために、広報誌などを読んで録音し、録音したテープを聞きたい人へ届ける活動のことで、阿蘇市には2つの音声訳ボランティア団体があります。一の宮町地域で活動中の「かけはし」（今村由里子代表4人）と阿蘇地域で活動中の「カナリアの会」（小島ヤス子代表13人）です。「かけはし」は結成から約20年、「カナリアの会」も20年を超えており、長きにわたりまちの福祉に大いに貢献されています。2団体は現在、広報誌・議会だより・社協だよりの音声訳テープを作られています。作業工程は「割り振り」「録音」「テープ配布」と、月3回の作業を要します。

●災害後、温かい支援で活動再開！

先の豪雨災害では、「かけはし」が活動の場所としていた一の宮高齢者センターが被災し、録音機材一式が流失。活動停止となりました。

そのことを新聞で知った熊本市の女性2名が、また、筑後市の九州大谷短期大学とその関係者の方が機材を寄贈。人々の優しさで、再び、録音活動を開始することができました。



広報誌などの音声訳テープを定期的に利用したい方へ

視覚障がいの方に限らず、文字が読みづらく不自由を感じておられる方はどなたでも、音声訳テープをご利用になれます。お気軽にお申込みください。

《申込み・問い合わせ先》

「かけはし」 ☎22-1467：今村

「カナリアの会」 ☎090-3013-1257：小島

図書館でも音声訳テープが 貸出されています！

一の宮図書館、阿蘇図書館、波野図書室にも音声訳ボランティアが録音したテープが置いてあります。どなたでも図書と同様に借りることができますので、ぜひご利用ください。





市民の皆さんが観光案内人！
様々な情報媒体を活用して、
観光情報を入力しましょう！

先月から始まった阿蘇地域全体のイベント「阿蘇の火まつり」。阿蘇市でも今月から大文字焼きのイベントを皮切りに、多数の催しが行われます。

冬を終えて、これから観光シーズンに突入し、県内外から多くの観光客が訪れます。道端で突然、観光客に尋ねられたら皆さんはすぐに答えられますか？

そこで今回は、市民の皆さんがいつでも観光情報を観光客に伝えられるよう、阿蘇市が展開する観光情報媒体の中で、まだ馴染みの薄い2つの媒体をご紹介します。阿蘇市で開催される様々なイベント情報を入力して、いつでも答えられるようになります。

1 約 2,000 人が購読中！
フェイスブック
「阿蘇市役所公式 Facebook ページ」

フェイスブック Facebook とはインターネット上で友人や知人と交流をする SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の一つで、日本では 1,600 万人以上（H24.12 現在）が利用されると言われるサービスです。

自治体での活用も普及し、阿蘇市でも観光情報や市の魅力を発信する媒体として、昨年 6 月に開設。このページでは、対外向けに観光情報や市の名スポット、阿蘇の自然などを配信しています。投稿毎の「いいね！」の数やコメント数で閲覧者の関心の度合いを把握できるのも特徴の一つで、今後、シティーセールスとしての活用も期待できます。登録しなくても情報は閲覧できるので、最新情報を素早く入手できます。（「阿蘇市役所 フェイスブック」で検索 ※アドレスは裏表紙に記載）



▲ Facebook ページの画面。閲覧者から『阿蘇が大好き』など、温かいコメントが多く寄せられます。

2 イベントや市民の皆さんへのお知らせを配信！
「NHK 地上デジタル放送『データ放送』」

地上デジタル放送の機能「データ放送」を活用した情報発信を行っています。データ放送とは、ご自宅のリモコンに「d」のボタンを押すと天気予報やニュース、詳しい番組情報などが無料で閲覧できる機能です。

NHK データ放送では、各自治体のイベント情報や住民向けの情報、在宅医情報などを集約してデータ放送で配信しています。地域のイベント情報はもちろんのこと、市民に向けた各種お知らせも閲覧できるのが特徴です。

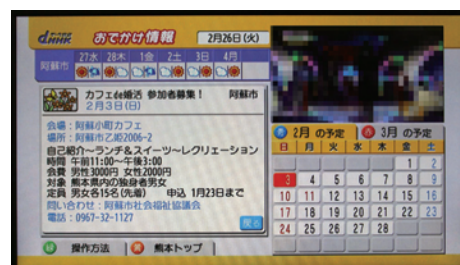
テレビ番組を見ながら閲覧できるので、時間の合間に「d」ボタンを押して情報をチェックしましょう。

●おでかけ情報入手方法

『NHK 総合』チャンネル → 「d」ボタン → 『くらしガイド』
→ 表示されるカレンダーの中から、見たい日にちを選択

●市民向けの情報

「d」ボタン → 『安全・安心街だより』



▲おでかけ情報配信画面。ここでは、阿蘇市のイベント情報のほか県内市町村のイベント情報も配信されています。

※ NHK 地デジデータ放送は、テレビや電波の状況によってサービスが利用できない場合があります。